

<挨拶> 「新しい年度にあたって」 学校長 丸 昇

4月7日に第21期生30名を迎え、平成26年度の教育活動が始まりました。初々しい姿の新入生に、「看護師になるのはそう簡単ではないけど頑張って！」と心の中で叫んでいます。看護師になるとの思いや願いは、各自がこれまでの学習や生活体験を通して育んできた大切な自己の未来像です。本校に入学した以上、それは単なる憧れや希望ではなく、その実現のために、看護師に必要な資質・能力を確実に身に付けるとともに自分の生き方・あり方を考え、人間として成長していかなければなりません。

近頃の学生は、高度情報社会の中、幅広い情報の入手や伝達に長けている反面、ややもすると人と人の直接的なコミュニケーション能力に不十分な面があるとの指摘があります。情報機器による意志表示や対話も重要で有効な手段ですが、看護師という職業には、対象に直に接してありのままに受容することから始まる心と心の触れあうコミュニケーションが不可欠です。看護に必要な知識や技術の習得はもとより、自分の心を開き相手を尊重する豊かな対話のできる人間に成長することが何よりも大切です。

本年度もそんな学生の努力を力強く支援するよう全教職員一丸となって教育指導を進めてまいります。関係の皆様の温かいご指導・ご協力をお願い申し上げます。

~~ 祝 入 学 ~~ 新入生のことば 「本 校 に 入 学 し て」

□ 不安と期待を胸に入学した日からもう1ヶ月が経ちました。新生活が始まり毎日緊張でドキドキしていましたが、学校の雰囲気は非常に良く、クラスの人とはとても明るく親しみやすく先輩方も親切で私は今、とても幸せな学校生活を送っています。辛く苦しい事も沢山あると思いますが、クラスの仲間と一緒に乗り越え、支え合いながら三年間みんなで成長していきたいと思っています。まだ始まったばかりですが、学校で学んだことなどを最大限に生かし、自分の思い描く理想の看護師像に少しでも近づけるように、これからも頑張っていきたいです。応援よろしくお願いします。 1年 荒関 彩奈

□ ガチガチに緊張していた入学式から、あっという間に1ヶ月が経ちました。クラスや学校生活に少しずつ慣れてきて、毎日楽しく過ごしています。最初のうちは、不安でいっぱいでしたが、クラスの仲間にも恵まれてとても幸せです。先生や先輩方も優しく、あたたい人ばかりで、富良野に来て本当に良かったと感じました。これからの学校生活で、苦しい時や辛い時には、同じ目標を持つ仲間と助け合い、お互いを高め合いながら、前に進んでいきたいと思っています。三年間で、大きく成長できるように、1日1日を大切に過ごしていきます。 1年 伊藤 瑞希

・・・ SCHEDULE ・・・ 4 / 10 ~ 6 / 27 の行事・動向（含終了）

- 4 / 10（木）～11（金）1年生宿泊セミナー（フラノ寶亭留）
- 4 / 28（月）第1回就職説明会 □ 4 / 30（水）避難訓練（消火器、救助袋等体験）
- 5 / 8（火）看護の日行事（全学生教職員が市内2病院、4施設訪問）
- 5 / 12（月）3年小児実習（施設～5 / 16 金）2年老年実習（施設～5 / 16 金）
- 5 / 19（月）3年実習1クール目（～6 / 6 金） □ 6 / 3（火）1年市内施設見学
- 6 / 9（火）3年実習2クール目（～6 / 27 金）1年基礎実習（～6 / 13 金）
- 6 / 16（月）2年老年実習（病院～6 / 27 金）

特集 ボランティア体験記 「自分の目で見て感じる」 3年 彫谷 結里奈

今までの私は、ボランティア活動を行うことに対してあまり興味がありませんでした。むしろ、ボランティアを進んでやっている人間は結局自己満足で行っているのではないかとさえ考えてしまっていたこともありました。しかし、父が東日本大震災後に自分の店を家族に任せ、知り合いのラーメン屋の店主と共に被災地にラーメンの炊き出しに向かったコトがきっかけとなり、「ボランティアを行うことで何か気持ちが変わるのかな、もっとプラスに考えるコトができるようになるのかな。」と考えるようになりました。そのようなことがあってからボランティアを行うことに興味を持ちました。

その後、電車内で偶然前に座った人が読んでいたパンフレットで、インドのマザーテレサ施設でボランティア活動を募集していることを知り、インドへの渡航を看護学生の1年時に決め、2年生の夏休みにインドへ向かいました。コルカタにあるボランティア施設にはマザーテレサが設立して有名な「死を待つ人の家」（カーリーガート）があり、施設内でボランティア活動をしたいと思う人が世界中から集まり、各施設で働くシスターよりも多くのボランティアがいました。ボランティアにきている人はクリスチャンであるヨーロッパ人をはじめ、半年と長い期間働いている日本人がいたり、大学の研究で参加した台湾人がいたりしました。言葉の壁があり、たくさん話すことは難しかったのですが、少しずついろいろな話を聞くことができ、発見や驚きがありました。

< 貴重な体験活動について自主的に投稿いただきました。続きは次号 に連載します。 >

ささやき S & T ・・・ 学生の 教員の みんなの声

- S : 3 学年になり1ヶ月経ちました。連続実習が、目前にせまり不安でいっぱいですが、1つ1つの実習を全力でこなし1年後笑顔で胸を張って卒業できるよう頑張ります。(3年S・S) S : 8日に看護の日の行事が終わり、老年看護実習が始まります。看護の日での高齢者との関わりを活かして、実習に臨みたいと思います。(2年A・M) S : 富良野市の住民となり、貴校に入学し手1ヶ月が過ぎました。山に囲まれ、自然に溢れたこの土地の風景を背に受けて、3年間しっかり学んで行きたいと思います。(1年T・U)
- T: 気がつけばもう5月。新入生が爽やかな風を運んで、上級生其々が大人になって・・・新しい春の始まりです。皆が心の中に「希望」を持つてのスタートでありますように(教員 近藤美十里)

「あんでな」「耳よりヘルシー」は休みます。